

令和5年度 学校評価 和田小パワーアッププラン

1 目標・方針

中期的な学校運営の目標・方針	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を生き抜く学力の育成（主体的・対話的で深い学び、自学自習できる力） ・豊かな心の育成（人権が大切にされる集団づくり、道徳教育、特別支援教育） ・健やかな体の育成（運動能力、食育・健康教育、安全教育、防災教育） ・地域とともにある学校づくり（和田に誇りを持つ児童の育成） ・働き方改革の推進
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤的な学力の定着と「わかった・できた」と実感できる学びの充実 ・思いやりに満ちた人間関係、他者を尊重する態度を養う道徳教育の推進 ・基本的な生活習慣の育成と防災・安全教育の充実 ・地域資源を活用したふるさと教育、キャリア教育の充実

2 自己評価（達成状況 A:優れている B:おおむね良好 C:やや改善 D:要改善）

領域	観点	評価項目	達成状況	学校の取組状況と改善の方策
学校運営	学校経営	地域資源を活用したふるさと教育	A	ゲストティーチャー年間63名(昨年度比42%増)を招聘。「ミニトライ・やる」を実施するなど地域と連携した取組を充実させた。 → 地域協働活動との一体的な推進を図る。
	生徒指導	基本的な生活習慣の定着	B	児童会によるあいさつ運動、インターネットの利用調査など基本的な生活習慣の確立に向けた取組を充実させた。 → スマホの所持率増加の実態に鑑み、モラル指導を充実させる。
教育課程	指導方法の工夫改善	「わかった・できた」と実感できる学びの充実	B	ペア・グループトーク等、対話的な学びを通して、自分の考えを表現することができるようになってきた。 → 対話を通して学びを深め、表現する場を確保するとともに、基礎基本を定着させる取り組みの両輪で学習指導を充実させる。
課題教育	人権教育	人権が大切にされる集団づくり	B	異学年集団の活動を核として、自治的な活動、安心できる居場所づくり、互いに認め合う仲間づくりに取り組んだ。 → 児童のアセスメントを充実させるとともに、全ての教育活動の中で人権教育を推進し、児童の居場所づくり、安心できる学校づくりをめざす。

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民にとって、学校にかかわり子どもたちからありがとうと言ってもらえることはとても嬉しい。今後も積極的に参画したい。一方で、核家族化や共働き世帯の増加で、保護者の見守り活動も見直しが必要である。子どもたちが安全に登校できるよう家庭でもしっかり指導することと地域もできる範囲で協力して持続可能な見守りの方法を模索したい。 ・道徳科を中心にその他の教科に、また「和田っ子トーク」や縦割り班活動など幅広く子どもたちが表現できる場を設けることで成果を上げているが、基礎学力定着との両輪で子どもたちの力を伸ばす取組を続けてほしい。 ・金銭教育やキャリア教育、薬物乱用防止教育など、子どもたちが社会生活で必要となる知識や態度が身につくよう今後も取組を継続することが必要である。
--

4 次年度の改善の方向性

<p>引き続き「和田に誇りを持ち、自立して未来を創る和田っ子の育成」を教育目標とし、①次世代を生き抜く学力の育成、②豊かな心の育成、③健やかな体の育成、④地域とともにある学校づくり、⑤働き方改革の推進を柱に取り組む。</p> <p style="text-align: right;">令和6年3月15日 学校名 丹波市立和田小学校 校長名 三原 智雄</p>
--